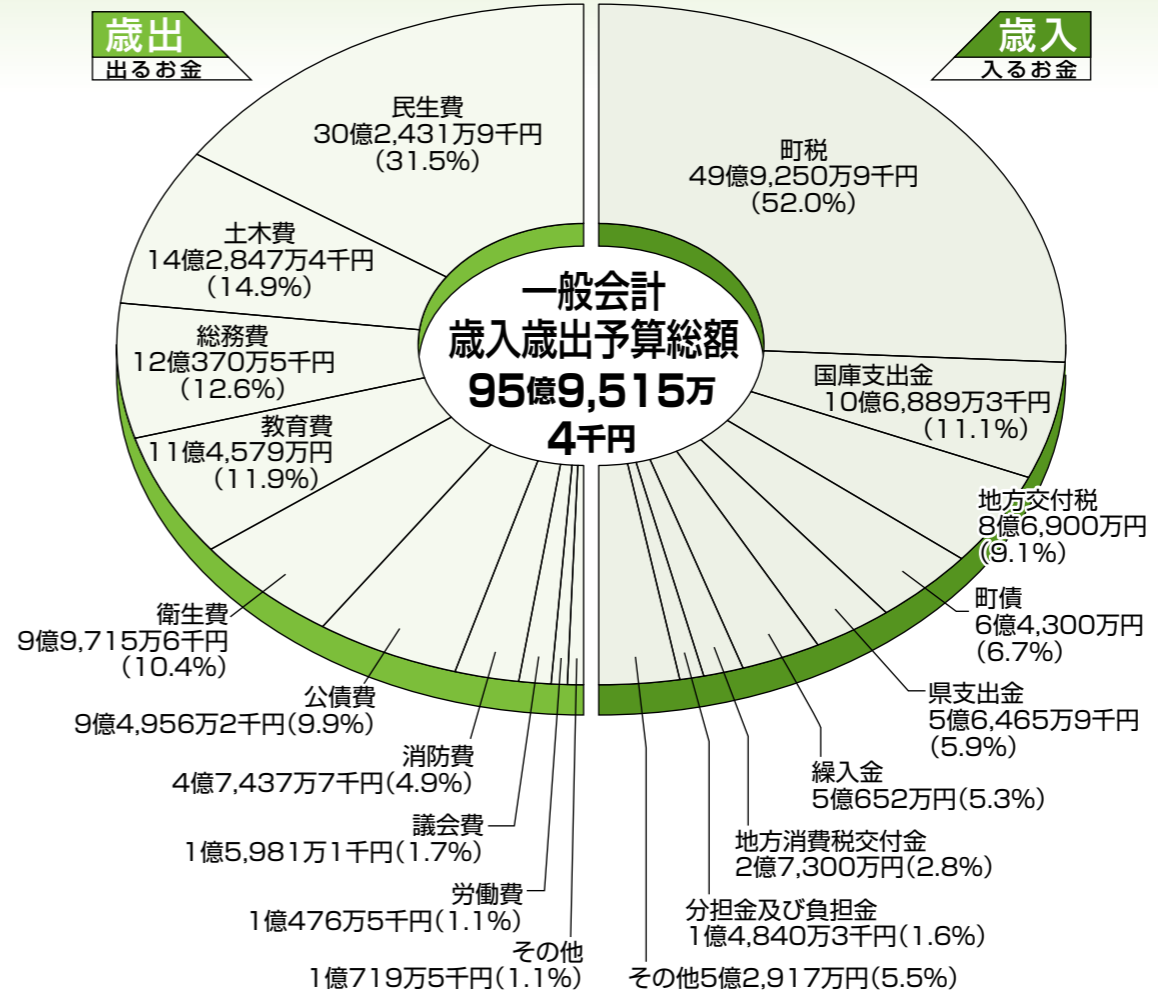


平成23年度予算が決まりました。

予算総額は、182億8008万1千円

平成23年度の予算が、3月の定例町議会で決まりました。今年度は、
 どれだけの収入があり、どのような事業にお金を使うのでしょうか。
 今月は、1年間の収入と支出の見積りである予算についてお話しします。

▼問合せ 総務グループ ☎079(4335)0357



町税、地方交付税は増へ転じるもの、依然厳しい台所事情

一般会計の歳入においては、町税が最も多く、49億9250万9千円で、全体の52.0%を占め、昨年度と比較して1億3653万4千円の増収見込となりました。その内訳は製造業における景気回復の見込みから法人町民税で約1億3000万円の増となるものの個人町民税で約4300万円の減となる見込です。

次に多いのが国庫支出金で、全体の11.1%を占め、10億6889万3千円となり、昨年度と比較して1億8981万5千円、21.6%の増となりました。これは、子ども手当関連の国庫負担金を昨年度に比べ、約1億4000万円の増を見込んだことによります。

次に多いのが地方交付税で、全体の9.1%を占め、8億6900万円となり、昨年度と比較して2億5100万円、40.6%の増収見込みとなりました。このうち普通交付税においては、昨年度に引き続き増収となる見込みで、8億200万円を見込んでいます。

その次に町債(借金)は6億4300万円の前年比35.8%の減、そして県支出金が5億6465万9千円、前年比23.9%の減を見込んでいます。

健康・医療・福祉の充実したまちづくりの推進

一般会計の歳出で最も多いのは、民生費の30億2431万9千円で一般会計の31.5%を占めます。これは、高齢者や障がい者(児)の福祉施策や保育園などの児童福祉施策のための予算で、乳幼児や高齢者等の医療費助成制度に伴う経費や、昨年度から創設された「子ども手当支給」にかかる経費もこのなかに含まれています。そのほか福祉会館などの福祉施設や北部及び南部子育て支援センターの管理運営経費などがあります。さらに本年度は、地域における見守りの必要性や適切な避難支援対策を講じるため、ひとり暮らし高齢者などの日ごろの状況を把握する「要援護者実態調査」も行います。

「安全・安心対策」と「教育の充実」をめざして

2番目は土木費で、14億2847万4千円で14.9%を占めています。これは、町の主要事業である「町道浜幹線道路新設事業」などの道路新設改良事業や土山新島線の舗装をやりかえる町道補修事業のほか都市公園の維持管理経費などがあります。さらに本年度は、山陽電鉄播磨町駅のバリアフリー化に係る経費も措置しました。

概要

一般会計と特別会計などを合わせた予算総額は、182億8008万1千円で、昨年度と比べて4億9433万6千円、2.5%の減となっています。会計別では、一般会計が95億9515万4千円、特別会計が77億9262万7千円、前年度比0.9%の増となりました。

また、企業会計である水道事業は、前年度比26%増の8億9230万円です。

用語解説

- <歳入>**
 町税…所得にかかる町民税や土地・建物にかかる固定資産税など
 国庫支出金、県支出金…事業を行うための国や県からの負担金や補助金
 地方交付税…町の財政需要に応じて国から交付されるお金
 町債…事業を行うために借り入れたお金
 繰入金…各種基金(貯金)を取り崩し一般会計へ入れたお金
- <歳出>**
 民生費…高齢者や障がい者、児童のための福祉など
 土木費…道路や公園の整備など
 総務費…財産管理や企画・税務事務など
 教育費…学校教育や公民館の整備など
 衛生費…ごみ・し尿処理や予防接種など
 公債費…町債などの借入金の返済
 消防費…消火・水防活動など
 議会費…議会の運営など
 労働費…労働者への福利厚生など
 農林水産業費…農業・水産業の振興など
 商工費…産業の振興や観光など

会計別予算の概要

区 分	予 算 額	対前年度伸率
一 般 会 計	95億9,515万4千円	△5.5%
特 別 会 計	77億9,262万7千円	0.9%
(国民健康保険事業)	37億1,867万9千円	5.3%
(財 産 区)	11億5,024万2千円	△11.5%
(下 水 道 事 業)	9億9,836万 円	△0.4%
(介護保険事業)	16億5,874万7千円	4.5%
(後期高齢者医療事業)	2億6,659万9千円	△10.5%
水道事業会計	8億9,230万 円	2.6%
合 計	182億8,008万1千円	△2.5%

住民1人に使われる町のお金

